

館山

会議所だより

会議所は企業の要、地域の灯

2026

1

会員数 891 名

令和8年1月5日現在

●昭和51年7月10日 第3種郵便物認可 ●令和8年1月10日発行（毎月1回10日発行） 第696号 ●発行所／館山商工会議所 ●編集発行責任者／専務理事 上野 学 ●〒294 -0047 千葉県館山市八幡 821 ●TEL0470-22-8330 FAX0470-23-4011 ●印刷所／株式会社 集賢舎 ●定価 1部 20 円（購読料は会費に含まれています）

謹賀新年



館山商工会議所 HP



館山商工会議所
公式LINE(始めました!)

新年明けましておめでとうございます

◇新年のごあいさつ 館山商工会議所 会 頭 安田信之

◇年頭所感

一変革と価値共創による日本経済の再出発一

日本商工会議所 会 頭 小林 健

◇新年のごあいさつ

「オール館山で創る 未来のたてやま」

館山市長 森 正一

◇新年のごあいさつ

千葉県知事 熊谷俊人

◇市内事業所永年勤続優良従業員表彰式を挙行

～市内事業所の従業員 32 名が表彰の栄に浴する～

◇夕日と富士山の写真パネル設置プロジェクトのご報告

無担保、無保証人、低利子で融資

～マル経融資制度～

利子補給 (1.0%) 制度が利用できます!

マル経融資制度は、小規模事業者の皆様の経営改善に必要な事業資金を館山商工会議所の推薦により「(株)日本政策金融公庫」から借りられる国の制度です。

担保、保証人	不 要
貸付限度額	2,000 万円
返済期間	10 年以内（※運転資金は 7 年以内）
利 率	年 2.30%（令和 8 年 1 月 5 日現在）
融 資 対 象	従業員（家族従事者、パート、法人の役員除く）が商業・サービス業は 5 名以下、製造業・その他は 20 名以下の小規模事業者

※ご利用の際には各種要件がございますのでお問い合わせください。☎ 22 - 8330



館山商工会議所
会 頭 安 田 信 之

新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆様におかれまし
ては、健やかな新年をお迎
えのこととお慶び申し上げ
ます。また、日頃より館山商
工会議所の事業及び活動
に、ご理解とご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

先ずは、昨年11月より、会
員の皆様のお力添えで、館
山商工会議所会頭としての
2期目を迎えました。感謝
を申し上げますとともに、
緊張感を持ち続け、心新た
に経済の再生に向けて精力
的に動く覚悟です。

年頭に当たり、今後、重点
的に取り組む事業について
触れたいと思います。

一点目は、地域経営につ
いての取組です。

地域経済を取り巻く環
境と市内外の情勢は、日々
刻々と変化し、非常に厳し
い状況が続いています。人
口減少と少子高齢化に歯止
めが掛からず、将来への明
るい展望が中々、見い出せ

ない現状は、館山市のみな
らず安房地域全体が抱える
重要な課題です。今こそ、館
山市内外に誇れる豊かな自
然、豊富な農水産物、多様な
人材など、ない物ねだりで
はなく、あるもの磨きに官
民が一体となって邁進して
行く必要があります。土木・
建設、環境、福祉、観光など
経済活動の全ての分野で、
地域で得られた資金を地域
外に流出することなく、地
域内で循環させ、持続可能
で、明るく、豊かな経済社会
を目指していかねければな
りません。

具体的には、いかなる手段、
手法で地域内の資金を得る
ことが出来るかは、会員の
皆様、関係者の皆様と英知
を結集して、地域全体の総
力で実現していきたいと考
えています。

二点目は、館山湾の利活
用による地域全体の活性化
についてです。

特に、富裕層が所有する
大型ヨットや高級クルー

ザーが寄港できる岸壁の整
備と旧安房水産高校跡地の
利活用は、大きな可能性を
秘めています。

具体的には館山夕日栈橋
の施設の充実は勿論のこと
と、その南側に位置する館
山港耐震岸壁の整備と利活
用については、今後に向け
た大きな課題であり、港湾
管理者である千葉県とその
利活用の最前線である館山
市とともに、促進していく
考えです。

また、旧安房水産高校跡
地の利活用は、民間活力を
最大限に発揮して、前述の
施設や渚の駅、さらには館
山城や城山公園との一体
的、総合的な視点で、市民や
来訪者にとって魅力的な空
間づくりに関わり、促進し
ていく考えです。

三点目は人材(財)の確保
についてです。

長年にわたり、様々な業界
や業種から、質量ともに人材
不足が叫ばれています。

特に、若い人材の確保に
は、地元の高校などとの
ネットワークを活かして、
勤労意欲のある、郷土愛に
溢れた若者が地域で働く仕
組みを構築しなければなり
ません。働き方改革が問わ
れる中で、賃金や福利厚生
など待遇改善を図り、如何
に地域での労働を促してい

くかを突き詰めていきたい
と考えています。

新年度からスタートする
館山市の基本構想では、「み
んなが主役 住んで楽しい
来て楽しいまち・館山」を
掲げています。その実現に
向けて、会員の皆様ととも
に、全力で取り組んで参り
ます。

この難局を乗り切り、商
工業の発展のために尽力し
ていく所存ですので、ご理
解とご協力をお願いすると
ともに、今年一年が素晴ら
しい年でありますよう御祈
念申し上げ、年頭のご挨拶
とさせていただきます。

本年も宜しくお願い致します



営業時間 11:00 ~ 16:00 水曜定休
館山市湊 493-24 昭和運送興業(株)となり

法律・税務・商工相談

■法 律 千葉県産業振興センター

■税 務 葛西 博 先生
川名 敏昭 先生

■商標 特許 神崎 正浩 先生



ご相談のときは事前にご連絡下さい。

会議所窓口相談

商工相談
金融相談

毎週水曜日

(電話相談随時
お気軽にご連絡下さい)

日本政策金融公庫
特別金融相談日

毎月第3金曜日

(事前にご連絡下さい)



副会頭
小金 晴男

【社会的連帯経済

～地域全体の連帯で描く、館山経済の新たな循環～】

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より商工会議所活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の議員総会におきまして、副会頭再任を仰せつかりました。重責に身の引き締まる思いであり、館山の地域経済発展のため、これまで以上に努める覚悟でございます。

当地域は、少子高齢化や人口減少という長期的課題に加え、国際情勢の変動や環境問題の深刻化など、複合的な転換期にあります。こうした時代だからこそ必要なのは、地域全体を一つの経済圏として再構築する包括的な産業政策です。

個々の産業は独立しているように見えても、実際には密接に循環し合っています。宿泊・飲食業には、農業・漁業などの第一次産業、運輸・物流、設備保守、サービス産業など多様な分野が関わり、地域の裾野に支えられています。どの産業も地域の基盤なしには成り立ちません。

今求められているのは、こうした多様な産業が「公共」を旗印に行政と連携し、地域経済を支える社会的連帯経済の視点です。地域産業の活性化という共通目的を共有し、業種の垣根を越えて連帯することで、館山に新たな経済循環を創り出すことができます。

皆様の一年が明るく希望に満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。経済の循環が進むことで笑顔が広がり、より素晴らしい館山を築いていけると感じております。引き続き商工会議所へのご支援をお願い申し上げます。



副会頭
白幡 進

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私達を取り巻く環境、特に人口問題に関して、日本が超高齢社会に突入して久しく、65歳以上の人口がすでに全体の3割に達しており、市町村にとってあらゆる高齢化社会に対応した対策は重要性を増しています。加えて核家族化の進行により「空き家」対策は避けて通れない課題となっています。

昨年11月、大分県で大火災が発生し、折からの強風と狭い道路、そして「空き家」の存在（4割）が延焼を加速させたと報道されていました。

先の国交省の発表によると、「空き家」は令和15年には、三軒に一軒の割合になると報告されています。私たちの地域でも「空き家バンク」が立ち上がり、行政と協議しながら活動が行われてきました。しかしながらその速度と利活用のマッチングが十分になっていないのが現状です。又、近年の建築資材の高騰で、新築家屋の着工も厳しいものとなっています。その点、「空き家」のリノベーション・再利用は持続可能な社会のためにも大切な資源と思われます。

今後、行政・経済三団体と連携してこれらの課題を推し進められればと考えます。結びに会員企業の充実・発展を心よりお祈り申し上げます。

職
員
一
同

監
事

原 佐 川 渡 渡 山 本 御 三 本 野 長 角 館 高 島 小 川 上 神 加 長
藤 名 辺 邊 口 橋 子 浦 間 口 尾 田 石 橋 山 名 山 子 藤 田
克 興 克 雄 茂 正 亮 徳 英 明 典 吉 正 幸 正 房 光 立 絵 克 久
己 二 己 二 也 治 一 重 喜 亨 行 子 夫 文 丸 彦 信 俊 巳 美 美 富 潤 学 進 男 之

常 専 副 会
議 務 会
員 理 頭
小 上 白
笠 笠 幡
原 野 金
田

館山商工会議所

謹
賀
新
年



日本商工会議所
会 頭 小 林 健

変革と価値共創による日本経済の再出発

明けましておめでとうございませう。

2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染み付いたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政におい

円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【変革と価値共創による日本経済の再出発】に向けた三つの重点課題

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。

そのためには、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきます。引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを

心より期待いたします。

【現場主義・双方向主義】の発展

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

食のまち「たてやま」をネットワークする

THE SHINRA の新ブランド誕生 五感で奏でる美味なる季

VILLA SHINRA BY THE SEA

株式会社こがね HANASHIBUKI RESORT GROUP

館山市塩見 233-4 TEL. 0470-29-0236

年古民家 Auberge TOKI NO NE

「オール館山で創る 未来のたてやま」



館山市長

森 正 一

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より市政へのあたたかいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

就任3年目の昨年は、これまでさまざまな取組が実を結び、多くの花が開き、新たな成長を実感できる一年でした。

2月には、郷土の偉人で資生堂の創業者であります福原有信氏の功績を紹介する博物館企画展を開催しました。

4月には、念願の「館山中学校」が完成し、新校舎での教育活動がスタートしたほか、公私連携幼保連携型認定こども園「OURS 館山」が開園しました。また、母子保健と児童福祉の機能を併せ持った「こども家庭センター」を開設しました。さらには、「館山市立小中学校再編計画」に基づく統合校の開校に向けて、館山

小学校、那古小学校の改修工事に着手しました。

10月には「NHKのど自慢」が6年ぶりに開催され、全国の皆さんへ館山の元気と魅力を発信することができました。また、「九都県市合同防災訓練」を開催し、自助、近助、共助、公助の相互の繋がりを強化し、多くの皆様と防災関係機関の防災力の向上を図りました。

11月には、長年交流を重ねてきた「台湾宜（イー）蘭（ラン）県（ケン）蘇澳（スーアオ）鎮（チン）」との姉妹都市を締結しました。今後は主に経済分野での交流に期待を寄せているところです。

令和8年は、市民の皆様と共に歩みを進める館山市の次の10年間のビジョンを示す「第5次館山市総合計画」のスタートの年です。

「第5次館山市総合計画『基本構想』」では、「まちの将来像」を「みんなが主役住んで楽しい来て楽しいまち・館山」としました。『基本構想』に掲げた5

つの基本目標の実現に向け、各種施策をしっかりと前へ進めてまいります。

本年4月には、未来を担う子どもたちのより良い教育環境を整備するため、「館山市立小中学校再編計画」に基づき、那古小学校と船形小学校を統合し、「那古船形小学校」を開校します。

また、少人数のメリットや地域の特性を活かした特色ある教育を行う南房総地域初の小規模特認校となる「まなびの杜 房南小学校 及び神余分校」を開校します。

さらには、学校再編による児童数の増加に伴い、北条小学校及び北条学童クラブの整備工事を行います。

私たちが暮らす館山を、より良いまちとするために、まちづくりの基本的な方針である「都市計画マスタープラン」の見直し、併せて人口減少を見据えた公共施設の適正配置など、居住と都市機能のバランスを踏まえた持続可能なまちづくりの方針となる「立地適正化計画」を策定します。

また、旧館山中学校について、民間提案制度を活用し、民間事業者が持つ強み・独自のノウハウをいかした跡地活用を通して、地域経済の活性化や雇用促進等を図ってまいります。

さらに、将来にわたり持続可能な観光地として、観光施策を展開していくための安定的かつ継続的な財源確保のため、宿泊者、事業者の皆様の理解を得ながら、千葉県の「宿泊税」に加え、館山市独自の「宿泊税」の課税について検討を進めるとともに、官民が一体となつて、「DMO（観光地域づくり法人）」の設立に向けた準備を進めます。

現代は、AI等の分野で急速な技術革新が進む一方で、人口減少等に伴う人手不足が顕在化するなど、行政運営にも大きな変化が求められています。こうした社会の変化に対応しながら、市民の皆様に対応しながら、サービスをお届けするため、市役所の組織を大きく改編し、職員一人ひとりが力を存分に発揮できるコンパクトでしなやかな組織体制を整えます。

本年の干支は「午」です。「午」は「前へ進む象徴」とされ、「発展・成長し、努力が実を結ぶ」大変縁起の良い年とされます。

就任4年目となる本年は、これまで取り組んできた各種施策を発展、成長させ、館山市が未来へ大きく飛躍する年としたいと考えています。

人口減少社会において、館山市を「未来に向かう希望あるまち」にするために、市民の皆様をはじめ、企業や学校に加え、地域内外の多様な団体の方々、さらには館山市を愛する多くの皆様との連携が大切です。

「みんなが主役」となり、「オール館山」で、活気ある館山を共に創りましょう。

結びに、本年も市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。とりまして、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

SHUNSA

株式会社 集賛舎

館山本社・館山工場
館山市山本226 〒294-0014
TEL.0470-22-2277
FAX.0470-23-2278

千葉支社（経営本部）
千葉市中央区生実町2498-8 〒260-0813
TEL.043-300-8661
FAX.043-300-8665

お気軽にお問合せください

充実した設備と
細かいサービス

大型カラー印刷機完備!!

- チラシ・パンフレット印刷
- オンデマンド印刷
データ入稿～印刷～製本
- 記念誌・自分史・郷土史
写真集・自費出版 etc...



千葉県知事

熊谷 俊 人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

商工会議所及び会員事業所の皆様には、日頃から本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年3月に千葉県知事に再度当選をさせていただき、10月には、2期目の県政において重点的に取り組む政策・施策を取りまとめた「千葉県総合計画（千葉の未来をとともに創る）」を策定いたしました。

本計画に基づき、頻発化・激甚化する災害や人口減少社会の到来など、喫緊の課題に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる千葉県を目指してまいります。

日本の表玄関であり最大の貿易港でもある成田空港では、第3滑走路の新設など、「成田空港第2の開港プロジェクト」が進められています。

本プロジェクトの効果を空港のみならず周辺地域にも最大限波及させるため、昨年、県と成田国際空港株式会社で「NRT（なりた）エリアデザインセンター」を立ち上げ、産業拠点の形成とそれを支えるまちづくりを目指す「成田空港エアポートシティ構想」を策定いたしました。

あわせて、成田空港周辺での産業拠点の形成が期待される地域のうち、特にスピード感や計画性を持って整備することが必要となるケースについて、県が産業用地整備に直接取り組むこととし、これらを通じて、魅力的なエアポートシティの実現に向けた施策を進めてまいります。

道路ネットワークは、県の半島性を克服し、県内を活性化していくための重要な基盤です。

とりわけ、成田空港の「第2の開港」を支える広域道路ネットワークの充実強化は重要であり、全線開通を控える圏央道や、北千葉道

路の早期整備を促進するとともに、その効果を県内全域に波及させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどのアクセス道路の整備を積極的に進めてまいります。

また、人口が集中し、渋滞が深刻化している県北西部では、新湾岸道路や千葉北西連絡道路の計画の具体化のほか、国道道を含めた道路網全体の円滑化に向けて積極的に取り組むとともに、千葉港において新湾岸道路の効果を最大限に生かすため、港と連携する臨港道路等の検討をしてまいります。

これらの成田空港の拡張事業や道路ネットワークの整備により高まる本県のポテンシャルを最大限に生かし、将来を見据えた新たな産業・地域づくりを進めてまいります。

また、企業の立地を一層促進するため、県の魅力のPRや企業ニーズに応じた補助制度の柔軟な見直し等により、企業誘致を推進してまいります。

さらに、昨年新たに県全域が指定された国家戦略特区の制度を幅広い分野において活用するなど、世界をリードする産業拠点の形成や新事業の創出を図ってまいります。

県内経済の持続的な発展に向け、物価高騰や人手不足、米国の関税措置等の影響を受ける中小企業に対する適切な価格転嫁の推進、デジタル技術導入のための伴走支援や従業員の奨学金返還支援などに取り組んでまいります。

また、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、企業等の脱炭素化や、ペロブスカイト太陽電池や洋上風力発電などによる再生可能エネルギーの導入の促進などに取り組んでまいります。

雇用関連では、働く若者のキャリアアップや所得向上、就職氷河期世代を含むミドル世代の安定した就労を促進してまいります。

観光については、地域資源を活用した魅力ある観光地づくりに取り組むほか、インバウンド客の誘致を促進します。また、宿泊税については、宿泊事業者や市町村の御意見を踏まえ、導入に向けた検討を進めてまいります。

国際関係については、姉妹都市・友好都市等との交流に取り組みとともに、昨年10月、オーストラリアを訪問し、日本と同国の閣僚級会議である日豪経済会議に出席したほか、各種視察

や企業・自治体との意見交換を行いました。

県では、本年県内で初開催されることとなった同会議の成功に向けて協力するとともに、諸外国との友好関係を生かし、本県の国際化や経済の活性化に資する取組を行ってまいります。

昨年開催された大阪・関西万博では、発酵をテーマに出展し、多くの方にご来場いただき、好評を得たところです。今後も、県内各地の多彩な発酵の魅力を発信するなど、「発酵県ちば」の取組を一層推進してまいります。

また、本年11月には、ちばアクアラインマラソンを開催します。本県の持つ多様で豊かな自然や地域の特性を生かした「海の上を走る」マラソン大会を開催し、スポーツの振興と県の魅力発信を行ってまいります。

千葉県の更なる飛躍に向け、本県の有する「空」「海」「里」の魅力を磨き上げ、県民の皆様とともに、新しい千葉の未来を創ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

結びに商工会議所及び会員事業所の皆様のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

32名が表彰の栄に浴する おめでとうございます！

令和 7 年度

市内事業所永年勤続 優良商工従業員表彰式を挙行



代表者謝辞 木村 誠さん

館山市と館山商工会議所が共催する、令和7年度市内事業所永年勤続優良商工従業員表彰式が、12月3日（水）館山商工会館で挙行されました。
この表彰制度は、市内の同一事業所に10年以上勤続し、他の模範となる勤労意欲と誇り高い愛社精神を持った従業員が対象となっており、永年にわたる所属企業の発展に尽力し、さらに地域経済を力強く支える原動力となった優秀な従業員を表彰する、非常に権威の高い表彰制度です。
今回表彰された方は、館山市長・館山商工会議所会頭表彰、勤続30年以上13名、勤続20年以上8名、勤続10年以上11名、合計32名の皆様です。氏名及び事業所名は次のとおりです。（敬称略）

館山市長・館山商工会議所 会頭表彰

◇勤続30年以上 13名

石井秀樹（株）ダスキン館山・田辺真一（株）ダスキン館山・金田はる江（極洋船舶工業（株）・小倉正敏（房州物流（株）・遠藤博英（房州物流（株）・木村 誠（株）房洋堂）・佐藤武夫（羽山信一税理士事務所）・鈴木澄枝（羽山信一税理士事務所）・林 正直（羽山信一税理士事務所）・山根賢義（羽山信一税理士事務所）・黒川美津子（羽山信一税理士事務所）・鈴木由美子（羽山信一税理士事務所）・伊丹 剛（昭和運送興業（株）



30年以上代表 金田はる江さん

◇勤続20年以上 8名

北原貴昭（極洋船舶工業（株）・庄司武史（有）房州日日新聞社）・鈴木計也（房州物流（株）・堀田 功（株）房洋堂）・粕谷省吾（ライフパートナー税理士法人）・岩瀬高典（株）岡部建設）・西尾尚樹（株）岡部建設）・石井正行（昭和運送興業（株）



20年以上代表 岩瀬高典さん



10年以上代表 新田 勇さん

◇勤続10年以上 11名

深瀬裕太（極洋船舶工業（株）・川名 拓（極洋船舶工業（株）・早川美咲（有）房州日日新聞社）・鈴木亮平（房州物流（株）・佐藤 努（房州物流（株）・新田 勇（館山信用金庫）・鈴木尚哉（館山信用金庫）・海瀬友基（館山信用金庫）・植田延代（昭和運送興業（株）・中山 亮（昭和運送興業（株）・石井真佐子（昭和運送興業（株）





夕陽と富士山の写真パネル設置プロジェクトご協賛者様
(敬称略)

(株) 加 納 ペ イ ン ト 工 業				
晴 和 会		(株) クリエイト・エンディ		
渡 辺 建 設 (株)		(株) ユタカ設備工業所		
(有) 幸 田 旅 館		ゆ り 庵 (株)		
(有) は や か わ		花 し ぶ き リ ゾ ー ト		(有) 山 本 商 店
君津信用組合館山支店		(株) 清 水 屋 商 店		(有) 木村ピーナッツ
(有) コミヤ電気工事	上 野 澄 子	白 子 屋 酒 店	(株) 岡 部 建 設	
(有) 三滝コンクリート工業	(株) サ ン グ リ ー ン	亀 田 酒 造 (株)	(株) シ ン セ イ	
(有) イワタニライフ	(株) 大 成	渡 邊 文 雄	マリンステーションハサマ	
(有) レ イ ン ボ ー	田 中 惣 一 商 店	渡 邊 尚 行	(株) 千 辰 地 所	
千 葉 美 装 (株)	イントコーポレーション(株)	(有) カ ミ ヤ マ	(有) 三 平 商 会	
(株) ま る い	(有) 正 嬉	ローソン館山 山本店	昭和運送興業(株)	
(株) 房 洋 堂	サ ン ・ テ ッ ク (株)	眞 汐 眞 一	P U B W I N G	
(有) ケ ア	(株) 波 奈	鈴 木 笑 里		
民 宿 つ の だ	高 橋 昌 行	秋 山 清	伊 熊 雅 美	船 形 ハ ウ ス

55 の事業所・個人の皆様から、770,000 円のご協賛を頂きました。

(上記以外に、事業所名やご芳名の掲載を望まれない 6 名の方々からもご協賛を頂きました)

皆様から多大なるご協賛を頂き、厚く御礼申し上げます。

夕陽と富士山の写真パネル設置プロジェクト 収支報告 (令和 7 年 12 月 12 日)

協賛金合計	770,000円
支出合計(看板設置、写真謝礼等)	1,279,195円
差引金額	509,195円
※差引金額は、館山商工会議所より支出いたしました。	